



新富士ロータリークラブ会報

BE THE INSPIRATION

— インスピレーションになろう —

R I 会長 バリー・ラシン
第2620地区ガバナー 星野喜忠
新富士 R. C. 会長 仲澤千尋
幹事 赤渕浩雄

事務所：富士市平垣本町8番1号
例会場：ホテルグランド富士内
TEL(0545)61-0360
例会日時：毎月第2・3・4火曜日
12:30～13:30



第1339回例会 (2019. 5. 21)



司会 梅谷 明子会場監督
ソング 「我等の生業」
四つのテスト唱和・本年度新富士 R C テーマ唱和
R I テーマ唱和

②富士市環境総務課より、富士市マナー条例に関する
ポスターの掲示及びチラシ配布の依頼 受信回覧
③週報受信回覧 富士宮 R C 沼津 R C 沼津北 R C

会長挨拶



今日は、ガバナー補佐公式訪問と
いうことで、大雨の中どうも有難う
ございます。

今年度最後の公式訪問となり、いよいよ自分と赤渕
さんのゴールも見えてきたのかなと感じます。

先週は、静岡県公安委員会の少年指導委員の年に一
度の法定研修が三島であり半日を過ごしましたが、や
はり三島の街並みは風情があるな一という思いのなか、
研修内容の子供たちを取り巻く環境は大変になってい
るなと感じました。携帯電話・パソコン・ゲーム・S
NSなどにより犯罪にまきこまれてしまうサイバー犯
罪の増加には目をみはるものがあります。ライン・S
NSなどから劣悪なサイトのほうへ誘導されてしまう
フィッシングという手口があります。そこから金銭の
請求・裸の写真を送れといったことにまきこまれてし
まいます。保護者としましては携帯のフィルタリング
機能で有害サイトへのアクセスを遮断するようにして
はいるのですが、次から次へと新しい手口で子供達を
犯罪に巻き込もうとします。何とかして未来ある
青少年の健全な育成が出来る社会にしなければと願っ
ております。

出席報告

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1339回	24	18	6		暫定75.00%
第1337回	24	18	6		確定75.00%

《本日の欠席者》

潮来 克士君 川口 平吾君 川村 武君
久保田元久君 斉藤 寛明君 佐野 昌宏君

私のスマイル

木村 憲司君 雨はほしかったが、大雨で大変です。
高橋 孝行君 4月28日南部町山水徳間の里、そば処、
キャンプ場、バーベキュー場、つり堀、
始めました。近くにお越しの節は、お
立ち寄り下さいませ。
和田 三郎君 先日、岳南地区新潟県人会の会長に見
事当選しました。会員は100名位です。
小山 哲君 先日、久しぶりに室内楽の生演奏を聴
き楽しかったです。
本多 脩身君 「絆」卒業生の結婚式に出席。相手は
女流漫画家でした。雨で仕事が出来、
お先に失礼。

幹事報告

①富士宮 R C より、2018～2019年度第3回5クラブ会
長幹事親睦委員長会議(新旧合同)の案内 受信回覧



出席委員会報告
内山 大委員



スマイル報告
木村憲司委員

プログラム予定

6月11日(火) 通常例会(卓話)
6月18日(火) クラブ協議会

6月22日(土) 期末親睦例会
(於 伊豆長岡サンパレー)

堀井 健治君 雨ですね。
小串 民義君 ガバナー補佐の来訪を歓迎します。
長原 幹君 山口ガバナー補佐の新富士ロータリーへの訪問を歓迎します。

赤渕 浩雄君 大雨洪水警報の中、山口和一ガバナー補佐にはご来訪いただき有難うございます。卓話宜しくお願ひします。
仲澤 千尋君 山口ガバナー補佐、本日は、雨の中ありがとうございます。

本年度を振り返り

静岡第2グループ
ガバナー補佐 山口 和一



ガバナー補佐 山口和一

2018～2019年度は、第2620地区において分区再編が行われ、当分区は旧第3分区の9クラブと旧第2分区から御殿場RC・裾野RC・長泉RCの3クラブが合流し、静岡第2グループとしてスタートしました。つい先日、平成から令和へと元号が変わり、私にとっては記念すべき平成最後の静岡第2グループのガバナー補佐となりました。そして、その役目も残すところ一か月余となりました。本日の期末訪問の目的は、地区目標の達成状況の確認や報告です。各クラブの諸事情により進捗度はそれぞれだと思いますが、地区の重点目標である①会員増強・維持、②R財団・米山奨学会・米山記念館への寄付・支援、③ポリオ撲滅活動への参加、④ロータリーの公共イメージの向上等に向けた事業展開に多大なご協力をいただきましたこと心から感謝いたします。

日本のロータリー創立100周年を来年に控え、ロータリーも年々変化をしている中、ロータリアン・職業人としてのリーダーシップとは？財団とは？奉仕とは？今後のロータリーがどうあるべきか？等々様々な観点から議論をするRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）が新たに始まるようです。現在DL（ディスカッションリーダー）養成講座が開かれています。次年度、RLIの出席要請がありましたら積極的に参加の程宜しくお願ひいたします。

また、ガバナー補佐としての一大イベントであるIM（インターシティ・ミーティング）に、多くのロータリアンの出席をいただきありがとうございました。本年度は、分区再編成により新しいクラブとの交流が始まったこと、グループ内に米山梅吉記念館が存在することから、「『絆・新しい出会い』～米山梅吉翁を知る～」をテーマに開催させていただきました。講師に沼津市出身としては初の真打である三遊亭朝橋師匠をお招きし、梅吉翁の生い立ちや経歴を落語で講演していただきました。多くの方から高評価を頂きました。是非、朝橋師匠の高座の機会を設けていただけると幸いです。

それから、今回のIMでは、記念品として、梅吉翁が提唱した「新隠居論」の小冊子を皆様に配布させていただきました。梅吉翁は、隠居した人は、今まで職務が忙しくて出来なかったことをみつめて、何か社会公衆の為に奉仕をしなくては、人間として義務を果たしたとは言えない。人間、事業に成功して目途がたったら、後進に道を譲って報恩、社会奉仕の方法を探すべき。隠居して引退するのではなく、隠居してなすべきことをすると説きます。このとき梅吉翁は46歳、まさに働き盛りのときでした。実際に梅吉翁が実業界から身を引くのは20年後ですが、この奉仕論を元に三井報恩会・東京ロータリークラブ設立、小学校建設、郷里長泉村への寄付など積極的に行動して思いを形にしていきました。「新隠居論」の小冊子は背広の内ポケットに入るサイズですので、皆様のパイプルにしていいただくと幸いです。

ここで、米山梅吉記念館での体験談をお話しさせていただきます。

私が米山梅吉記念館を訪問したときのことで。そこにはオーストラリア人の女性の方が一人で大阪から来館されていました。

山口「今日は、どうされましたか」

女性「私は、以前米山奨学生でした、今日はお礼に来ました」

山口「記念館は、何回目ですか」

女性「今回が初めてです」

山口「では、お墓参りもしますか、案内しますよ」

女性「是非お願いします」



彼女が生花と線香を持参していたのには、少しびっくりしました。そして彼女は、梅吉翁の墓だけでなく親族の墓も掃除をし、花をさし線香をあげ長らく手を合わせていました。彼女が「やっと、先生にお礼が言えました」と涙を溜めて言っていたのが印象的でした。

現在、彼女は起業し大阪にいるそうです。私が「ロータリークラブに入らないの」と聞くと、彼女は「入ろうとしたら女人禁制のクラブでした」と笑いながら、「私はロータリークラブに入って、今度は恩返しをしたいのです」と言っていました。我々の米山奨学会への寄付は、活かされているのだと実感した一コマでした。

米山学友会のメンバーに聞くと、米山奨学生の8割の人は、将来も何らかの形のロータリーに関わって行きたいと考えているそうで、なかにはクラブに入会することも考えている人が多くいるとのことでした。会員増強の参考になればと思います。

私の会長年度の第2620地区のガバナーは岡本一八さんでした。岡本ガバナーは、「若いうちは仕事に、家庭に、子育てに忙しい。だから寄付はできる範囲で無理をする必要はない。しかし、年金を貰うようになったら最低一か月分は寄付をするように。」と良くお話されていました。私も今月いよいよ年金を満額貰える年齢になります。一か月分寄付する努力をしたいと思ひます。

いたらぬガバナー補佐ではありませんでしたが、皆様のご指導ご鞭撻のおかげをもちまして何とか全うできそうです。一年間、大変お世話になりましたありがとうございます。今後とも第2620地区静岡第2グループへのご指導ご協力をお願い申し上げます。



ガバナー補佐事務局長 實石 学